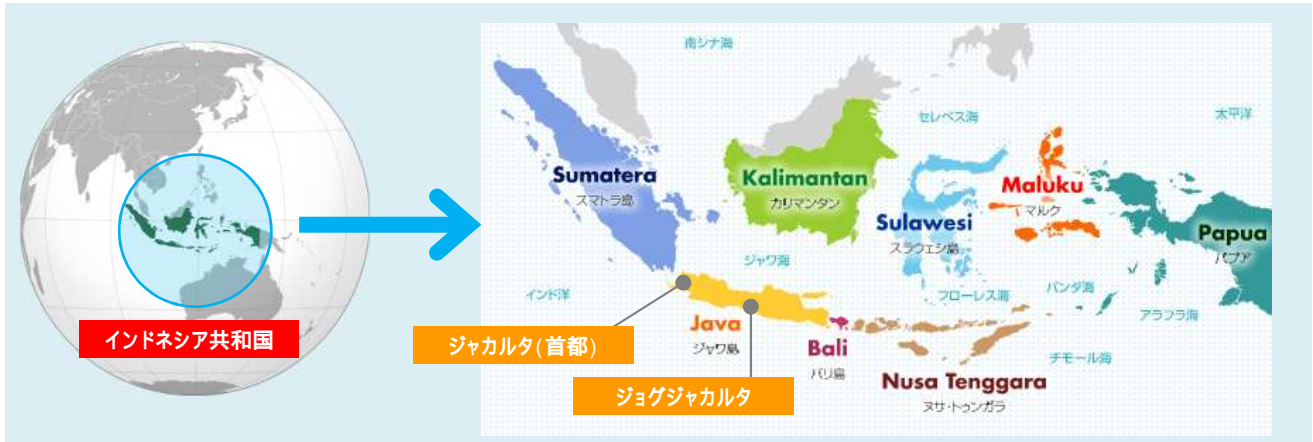


## 参考情報

### (1) ジョグジャカルタ特別州について



ジョグジャカルタ特別州は、インドネシア共和国に34ある州のうち、ジャワ島中部南岸に位置する州(人口約350万人)。州都はジョグジャカルタ市(人口約40万人)。インドネシア独立戦争(1945-9年)の間、同国の臨時首都であった。

インドネシア独立戦争時は、スルタンが統治するイスラム侯国だったが、時のスルタンが独立に協力したため、共和国成立後もジョグジャカルタは特別州としての地位を与えられ、知事をスルタンの世襲制とすることが法律により定められた。現在の知事は、独立戦争時のスルタン・ハメンク・ブウォノ9世の息子ハメンク・ブウォノ10世。

特別州知事は、スルタンとして現在でも州民から広く崇拜され尊敬されており、他の州における公選の知事とは状況が大きく異なっている。

ジョグジャカルタとは「平和の町」という意味で、古都としてジャワ島の伝統文化を強く残す著名な観光地であり、周囲には、ボロブドゥール仏教遺跡、プランバナン寺院遺跡群といった世界文化遺産がある。州都ジョグジャカルタ市は、国立ガジャマダ大学をはじめ市内に120余の大学を有し、世界中から留学生が集まる学園都市である。

ジョグジャカルタ市の約30km北には、同国で最も活動的な火山の一つとして知られるメラピ山が位置している。メラピ山は、2010年に大規模な噴火を起こし、一時約35万人が避難し、300人以上の死者を出した他、約25km西にあるボロブドゥール遺跡にも降灰の被害を及ぼした。

### (2) ジョグジャカルタ特別州とのその他の交流

H26年9月にガジャマダ大学と県富士山科学研究所は、火山防災分野等における共同研究等の実施に向けた覚書を締結、県内で共同シンポジウムを開催した。また、H29年度から3年間、ガジャマダ大学と県富士山科学研究所は、JICA草の根技術協力事業を活用し、火山防災に関する共同研究を実施する。

H26年10月にVF甲府、(株)日建とサッカーアカデミープロジェクトを検討中のスルトンの第五王女一家が来県し、少年サッカー大会を視察した。

H27年度に山梨大学とジョグジャカルタ州立大学との間で、留学生などに係る交流協定を締結した。